

平成24年度 水道局予算要求方針

【目次】

- 1 平成24年度水道局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・ 5

1 平成24年度水道局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成24年度水道局予算要求総括表

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

平成24年度要求総額	30,447,858千円
(平成23年度予算額	30,365,210千円)
前年度比	82,648千円(0.3%)

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成24年度 予算要求額A	平成23年度 予算額 B	増減 A-B
(拡充)老朽管更新事業	3,895,000	3,659,300	235,700
(拡充)震災対策整備事業	744,373	317,392	426,981
(新規)電気自動車の導入	1,185	0	1,185
(新規)水巻町水道事業の統合	200,000	0	200,000
(拡充)海外事業の展開	68,440	26,305	42,135

〈水道用水供給事業〉

平成24年度要求総額	791,359千円
(平成23年度予算額	708,210千円)
前年度比	83,149千円(11.7%)

【工業用水道事業会計】

平成24年度要求総額	2,736,628千円
(平成23年度予算額	2,656,480千円)
前年度比	80,148千円(3.0%)

(2) 平成24年度水道局経営方針

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

料金収入の減少傾向が続くなど、厳しい経営状況が見込まれるなか、「中期(後期)経営計画」(H23~H27)に基づき、着実に事業を推進していきます。特に、災害対策については、「東日本大震災」の発生を踏まえ、一層強化し取り組みます。

■ 災害対策

- 老朽管更新事業は、前年度比 2.4 億円増の 39.0 億円
- 震災対策整備事業は、前年度比 4.3 億円増の 7.4 億円

これらにより増加する整備事業費の財源には、累積資金剰余を約 2 億円活用する予定です。

一方で、営業業務の見直しなど経営改善にも引き続き取り組み、収益的収支で 5.7 億円程度の黒字を確保し、積極的な事業展開と健全経営の維持を両立していきます。

■ 健全経営の維持

- 収益的収支は、5.7 億円の黒字を確保
・水道料金収入の減少(▲1.5 億円)
- 単年度資金収支は、2.0 億円のマイナス
- 企業債残高は、6.4 億円の縮減

〈水道用水供給事業〉

収益的収支で 2.9 億円のマイナスが見込まれるものの、給水対象が 2 都市増え給水量が増加する平成 28 年度を目途に、単年度収支を黒字化します。

【工業用水道事業会計】

計画的な施設整備を進めるとともに、一般会計からの長期借入金 4.7 億円を全額償還した上で、単年度の収益的収支、資金収支とも黒字を確保し、引き続き健全経営を維持していきます。

■ 健全経営の維持

- 収益的収支は、3.5 億円の黒字を確保
- 単年度資金収支も、7 百万円の黒字を確保

2 重点的に取り組みを行う主なもの

「中期(後期)経営計画」に掲げた主要事業に着実に取り組み、推進します。

(1) いつでも安定して供給できる水道

自然災害や老朽化による漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

Ⅲ-1・拡充 ■老朽管更新事業 3,895,000千円

(うち拡充分235,700千円)

経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路を耐震化します。

- ・ 配水管更新 L=50km 3,000,000千円
- ・ 導送水管更新 L=4,410m 895,000千円

Ⅲ-1・拡充 ■震災対策整備事業 744,373千円

(うち拡充分426,981千円)

浄水施設などの基幹水道施設の耐震化工事を実施します。また、震災時の応急給水拠点の整備を進めます。

- ・ 浄水施設の耐震化工事等 305,373千円
- ・ 配水池の耐震化工事 379,000千円
- ・ 緊急遮断弁の整備 30,000千円 など

Ⅲ-1・継続 ■バックアップ機能の強化対策 345,340千円

3つの基幹浄水場をループ化する「水道トライアングル構想」を完成させるとともに、送水管の2条化により、災害等の発生時でも給水に支障のない施設整備を進めます。

- ・ 小森江系送水管 L=1,000m 239,000千円
- ・ 二島配水池2系統化整備(水道トライアングル構想付帯整備) 96,340千円
など

Ⅲ-1・継続 ■水道施設再構築プランの策定 17,800千円

広域化の検討状況や世界的な水不足問題などを視野に入れた将来の水需要に見合う施設規模に見直すため、検討を進めます。

- ・ 浄水場施設コスト比較、カルテ作成

Ⅲ-1・拡充 ■有収率向上対策 271,972千円

(うち拡充分50,772千円)

漏水量を削減し有収率の向上を図るため、23年度より導入した漏水調査の成果主義に加えて、24年度から簡易調査を導入し、年1回の頻度で全件調査を実施します。また、漏水防止策として、老朽給水管取替を実施します。

- ・ 計画漏水調査・修繕 206,200千円
- (新) 簡易漏水調査・修繕 43,772千円
- (新) 老朽給水管の取替 22,000千円

(2)お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

Ⅲ-1・継続 ■遠賀川の水質改善対策 7,500千円
主要水源である遠賀川の水質改善対策の一環として、頓田貯水池の水質改善対策を実施します。

Ⅲ-1・継続 ■残留塩素低減化対策 53,000千円
浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化対策を本城浄水場の給水エリアで実施します。

(3)環境モデル都市を推進する水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

Ⅵ-2・新規 ■電気自動車の導入 1,185千円
公用車の更新に合わせ、走行中にCO₂を全く排出しない電気自動車を導入し、CO₂削減と低公害車の普及啓発に努めます。
・ 2台

Ⅵ-2・継続 ■太陽光発電設備設置事業 20,000千円
配水池などの水道関連施設に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用によりCO₂を削減します。
・ 配水池 2箇所

Ⅵ-2・継続 ■省エネルギー対策整備事業 116,000千円
送水ポンプを適正規模に更新することや配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力を削減します。
・ 送水ポンプ等更新 工事等 91,000千円
・ 配水ブロック改善 工事等 25,000千円

(4)世界・地域に貢献する水道

Ⅶ-3・新規 ■水巻町水道事業の統合 200,000千円
水巻町との水道事業の統合に向け、システム改修など準備を進めます。

Ⅶ-3・拡充 ■水道事業の広域化 14,795千円
(うち拡充分12,014千円)
新たな広域連携を推進するため、周辺自治体など関係機関と検討を進めます。

Ⅶ-1・拡充 ■海外事業の展開 68,440千円
(うち拡充分42,135千円)
カンボジア、中国・大連市、ベトナム・ハイフォン市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、海外水ビジネスの具体的な案件形成に向けた取り組みを着実に推進します。

3 事務事業の見直し等（主なもの）

（1）行政評価による見直し

① 水道技術の国際貢献（海外水ビジネスによる国際貢献）

緑の成長戦略の一つである「海外水ビジネス」を進展させることで、国際貢献とともに地域経済の活性化にも寄与していきます。

具体的には、国際技術交流で築いてきた人的ネットワークと、地元企業の持つ優秀な技術力などを組み合わせ、“海外水ビジネス推進協議会”を中心に、ビジネス案件の形成を図り、海外水ビジネスを着実に推進します。

（2）その他の見直し

① 営業業務の見直し

営業業務を1つの業者へ包括委託することで、「つなぎ目のないサービス」を提供し、より一層お客さまサービスの質を向上させます。あわせて、現在、職員が行っている業務の委託を行い、事業運営の効率化を図ります。

② 水道用地の有効活用

新たな視点で洗い出しを進めてきた遊休地について、駐車場の拡大など有効活用し、収入増対策を推進します。

③ 広告事業の拡充

水道用地等を広告媒体として活用し、民間企業等の広告を掲載することで、新たな収入の確保に取り組みます。